



# 新年のごあいさつ



生活協同組合コープぐんま  
理事長 中村 隆夫



新年あけまして  
おめでとございます。

組合員みなさまには、日頃よりコープぐんまの宅配や店舗・共済・福祉・電気の各事業のご利用と、組合員活動や募金等にご参加・ご協力いただき、心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響は昨年も続き、生協にあっても事業と活動で計画通りに出来ないことが多々ありました。また、五月は物流システムトラブルにより、宅配で一週間配達が出来ないというトラブルを発生させ、組合員みなさまに多大なご迷惑をおかけしました。コロナ禍で外出を自粛されている組合員さまがいる中で、生協の

配達にはライフラインと認識し、今回のトラブルを重く受け止め今後の教訓としていきます。

続くコロナ禍で社会の矛盾は拡大して貧富の格差も広がっています。五月の物流トラブルで配達できなかった商品の一部はフードバンク、子ども食堂や学生の食料支援に提供させていただきました。組合員さまからお預かりした食品をフードバンクへ届ける「フードドライブ」の取り組みも定着し、寄付していただける食品も増えてきています。甘楽町では、町と協同でふれあい食堂「ほぺたん広場」を開設しました。また、小さなお子さんのいるお母さんが語り合える場として、子育てひろば「かんがるゝむ」を昭和店に続き宮子店にも開設しました。

子育ての悩みや交流の場としての役割を担っていければと思います。

平和の活動も、コロナ禍の影響を受けオンラインでの学習会や交流会が中心となりました。戦争体験者が少なくなる中で、平和の尊さを次世代に伝えるために、出来ることを今後も続けていきます。

今春、一六年ぶりとなる新店が高崎市箕郷町にオープンする予定です。コープぐんまで初の六〇〇坪タイプのお店です。地域から信頼されるお店として、地元産品も数多く取り揃える予定です。また、東毛地域では自治体の要望に応え、お買い物に不便を感じている地域の方のために、移動店舗が一月下旬からスタートする予定です。

現在、気候危機により毎年のように大きな自然災害が発生しています。国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」には、私たちが取るべき行動が示されています。自然災害や感染症に対する不安、紛争、経済的格差の拡大など、私たちの生活を脅かす問題に対し、協同の力で乗り越えていきましょう。

本年もご協力をお願い致します。最後にりましたが、本年も組合員みなさまにとって良い年になりますことを、役員一同心よりお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

二〇二二年元旦

